興南が15連覇

王者の全力 攻守圧倒

男子

15連覇を狙う男子興南は序盤から全力を発揮してコザに32―13で快勝した。神森中で全国3冠を達成した新入生7人が入部してポジション争いが激化。「1年には負けられない」（GK西原雄聖）と危機感を抱いた王者が本気を見せた。

堅守で流れを引き寄せた。高い位置からの守備で相手を両サイドへ押し込み、ゴール正面では体を寄せて開始10分を1失点にとどめた。「コザは出だしからガツガツ来るチーム。そこを止めたことは大きかった」と伊禮雅太主将は喜んだ。

攻撃でも圧倒した。ループやワンバウンドのパスで翻弄（ほんろう）し、コートを広く使うボール回しからフリーの選手が決めた。チーム最多6得点の池間飛勇は「一人一人が前を狙い、マークをずらす動きが成功した」と振り返った。

辛口の黒島宣昭監督も「DFは合格点。予想外の展開だった」と目尻を下げた。高校選抜は3回戦で涙をのんだ。伊禮は「目標は全国制覇。勝負どころでの決定率を上げないと全国では戦えない」と課題修正へ決意を燃やした。（又吉健次）

㊤男子決勝　興南―コザ　後半9分、興南の伊禮雅太が22点目のシュートを決める＝沖縄市体育館（田嶋正雄撮影）㊦男子優勝の興南

ハンドボール（沖縄市体育館）

【男子】▽決勝

興南 32（15―6、17―7）13 コザ

【女子】▽決勝

那覇西 24（12―13、12―5）18 浦添

那覇西4年ぶりV

女子

全国選抜3位の女子那覇西は、昨年の中学沖縄選抜で全国準優勝メンバーの新1年生が加わってパワーアップ。2年ぶりの頂点を狙う浦添を24―18と危なげなく退け、南部九州総体出場を決めた。

1年の金城菜々子が輝いた。「GKをしっかりと見て打つことができた」と6得点。美東中時代に沖縄選抜の司令塔を務めた新戦力がチームを引っ張った。

先輩も負けていない。GK仲宗根鈴珠は、守備陣との連係プレーでシュートコースをつぶして好セーブを連発。「後輩に夢を与えるのが先輩の役割。自分のプレーで表現する」と、U16日本代表GKで1年の比嘉楓の目の前で守護神の意地を示した。

「先輩が頑張っているから後輩は伸び伸びプレーできる」と比嘉律監督。2年生のセンター久場川かりんは「追い上げられたときも焦らずに、みんなを落ち着かせて勝ち抜きたい」と意気込んだ。

女子決勝　那覇西―浦添　後半、那覇西の金城菜々子がファウルを誘いながらシュートを放つ

女子優勝の那覇西